

大会日程

11月23日(金)	8:45	～	9:25	受付
	9:25	～	9:30	開会挨拶
	9:30	～	9:50	ポスター紹介
	9:50	～	10:30	ポスターセッション (コアタイム奇数番号)
	10:35	～	11:15	ポスターセッション (コアタイム偶数番号)
	11:15	～	12:15	総会
	12:15	～	13:15	昼休み
	13:15	～	16:45	テーマ講演
	17:15	～	19:15	懇親会
11月24日(土)	9:00	～	9:30	受付
	9:30	～	10:30	口頭発表
	10:30	～	10:45	休憩
	10:45	～	11:45	口頭発表
	11:45	～	12:00	休憩
	12:00	～	12:40	口頭発表
	12:40	～	12:45	閉会挨拶

日本腐植物質学会 第34回講演会実行委員会

事務局：加藤 拓

連絡先：〒1568502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1-

東京農業大学 応用生物科学部 農芸化学科

電話：03-5477-2310, FAX：03-5477-2619

E-mail: tk205721@nodai.ac.jp

—大会 1 日目（11 月 23 日）—

8:45～ 9:25 受付

9:25～ 9:30 開会挨拶

9:30～ 9:50 ポスター紹介 (座長：飯村康夫)

9:50～11:15 ポスターセッション
9:50～10:30 奇数番号
10:35～11:15 偶数番号

11:15～12:15 総会

12:15～13:15 休憩

13:15～16:45 テーマ講演 (座長：加藤拓)

『これまでの農業生産における腐植物質研究と今後の課題』

T1 「有機物が土壌、植物に与える効果」

○野口勝憲（片倉コープアグリ株式会社）

T2 「堆肥に含まれる水溶性腐植物質の化学的特徴と作物生産における機能性」

○谷 昌幸（帯広畜産大学）

T3 「企業における腐植酸質資材の認識と現状」

○東嶋伸治（株式会社ケミクレア）

T4 「腐植質資材と天然腐植物質の化学構造特性の違い」

○藤嶽暢英（神戸大学）

T5 「農業生産における腐植（物質）の役割」

○青山正和（弘前大学）

全体討論

17:15～19:15 懇親会 (農大アカデミアセンター6F 多目的スペース)

－大会 2 日目（11 月 24 日）－

9:00～ 9:30 受付

9:30～10:30 口頭発表セッション 1 (座長：柳由貴子)

O1 「藻場再生用施肥材からの鉄溶出機構の検討 1－製鋼スラグとフミン酸の特性変化」

○山本光夫¹、松尾基之²、岩井久典³、劉丹⁴ (¹東京大学海洋アライアンス、²東京大学大学院総合文化研究科、³大阪府立大学大学院工学研究科、⁴有明工業高等専門学校創造工学科)

O2 「藻場再生用施肥材からの鉄溶出機構の検討 2－TMAH-py-GC/MS によるフミン酸の微細構造解析」

○岩井久典¹、山本光夫²、松尾基之³、劉丹 (¹大阪府立大学大学院工学研究科、²東京大学海洋アライアンス、³東京大学大学院総合文化研究科、⁴有明工業高等専門学校創造工学科)

O3 「油ヤシプランテーション下における熱帯泥炭の分解」

○眞家永光¹、渡邊彰²、Lulie Melling³、Zulhilmy Abdullah Mohd³、柿野亘¹、丹治肇¹ (¹北里大学獣医学部、²名古屋大学大学院生命農学研究科、³サラワク州熱帯泥炭研究所)

10:30～10:45 休憩

10:45～11:45 口頭発表セッション 2 (座長：山下祐司)

O4 「ダム底泥及び鉄資材添加によるイネの生育促進効果」

○兒玉宏樹¹、宮本隼²、小林拓馬²、鳥越裕太²、厨子圭介³、宮島徹⁴ (¹佐賀大学総合分析実験センター、²佐賀大学理工学部、³厨子農園、⁴佐賀大学名誉教授)

O5 「白色腐朽菌（シイタケ）廃菌床から抽出したフルボ酸様物質の構造」

○吉澤秀治¹、橋川裕子¹、滝口隆雄¹、矢島博文² (¹明星大学理工学部、²東京理科大学理学部)

O6 「親水性相互作用クロマトグラフィーと逆相クロマトグラフィーによるフルボ酸構成成分の分離」

○青山正和、沢目大輔 (弘前大学農学生命科学部)

11:45～12:00 休憩

12:00～12:20 口頭発表セッション3 (座長：小林孝行)

O7 「各種土壌中の腐植に対するブラックカーボンの寄与」

○渡邊彰¹、魯冠洋¹、今井寛子¹、池谷康祐¹、隅田裕明² (¹名古屋大学大学院生命農学研究科、²日本大学生物資源科学部)

12:25～12:30 閉会挨拶

ポスターセッション 11月23日(金) 9:30~11:15

ポスター紹介は講演番号順に1人1分間(パワーポイント1枚)行います。

コアタイムは奇数番号: 9:50~10:30, 偶数番号: 10:35~11:15です。

ポスターは講演会終了時まで掲示をお願いします。

ポスター賞の表彰は懇親会にて行います。

- P1 「STRENGTH OF HUMIC SUBSTANCES AGGREGATE: EFFECT OF CATIONIC SURFACTANT AND DIVALENT CATIONS」
○Azizul Hakim¹、Motoyoshi Kobayashi² (¹Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ²Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)
- P2 「Inhibition of polycation-induced colloid flocculation by polyacrylic acid: Effects of concentration ratio and ionic strength」
○Voon Huey Lim¹、Yuji Yamashita²、Doan Yen Thi Hai¹、Yasuhisa Adachi² (¹Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ²Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)
- P3 「土壌中の Black Carbon の定量方法の検討 -第四報: 重クロム酸法が試料組成に与える影響-」
○劉冠初¹、磯井俊行²、村野宏達² (¹名城大院農、²名城大農)
- P4 「二次元ゲル電気泳動法を用いる金属-フミン酸超分子錯体の凝集反応追跡」
○丸茂和樹¹、斉藤拓巳²、原賀智子³、洪川雅美¹、齋藤伸吾¹ (¹埼玉大学大学院理工学研究科、²東京大学大学院工学系研究科、³日本原子力研究開発機構)
- P5 「PEI/HA 二層コーテッドフィルターによる海水中微量 Cu(II)の除去」
○岩井久典 (大阪府立大学大学院工学研究科)
- P6 「沿岸部の堆積岩地下水に溶存する腐植物質の定量評価」
○寺島元基、遠藤貴志、紀室辰伍、宮川和也 (日本原子力研究開発機構)
- P7 「嫌気条件での微生物群による腐植物質分解機構について」
○上野晃生¹、玉澤聡¹、玉村修司¹、村上拓馬¹、山口眞司²、青山秀夫²、中島一紀³、五十嵐敏文³、長沼毅⁴、金子勝比古¹ (¹幌延地圏環境研究所、²三菱マテリアル株式会社、³北大院・工学研究院、⁴広島大院・生物圏科学)
- P8 「間伐材チップ精錬炭の散布による作物生育の比較の試み」
○大塚公貴¹、田村健太²、下郷卓也³、高橋利明³、飯嶋光幸³、藤野毅² (¹埼玉大学工学部、²埼玉大学大学院理工学研究科、³株式会社高橋製作所)
- P9 「溶存有機物が土壌中の¹³⁷Csの移動に与える影響」
○辰野宇大、濱本昌一郎、二瓶直登、西村拓 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

- P10 「粉体土壌試料の三次元蛍光分光測定」
○中屋佑紀^{1, 2}、中嶋悟¹、森泉美穂子³、小口真弘⁴、柏木伸介⁴、中庸行⁴（¹大阪大学大学院理学研究科、²日本学術振興会特別研究員 DC、³龍谷大学農学部、⁴株式会社堀場製作所）
- P11 「バイオチャーの添加に伴う土壌有機物分解速度変化」
○飯村康夫、夏原雅明（滋賀県立大学環境科学部）
- P12 「イモゴライト-フミン酸複合体の凝集沈降」
○野宮高由¹、山下祐司²、足立泰久²（¹筑波大学大学院生命環境科学研究科、²筑波大学生命環境系）
- P13 「疎水性有機物画分定量法を用いた農耕地土壌に含まれる水溶性土壌有機物の分画」
○加藤拓¹、大塚みほ¹、山崎優里¹、木田森丸²、大島宏行¹、前田良之¹、藤嶽暢英²（¹東京農業大学応用生物科学部農芸化学科、²神戸大学大学院農学研究科）
- P14 「熱分解 GC/MS を用いた琵琶湖底質及び大気エアロゾル中有機成分の化学特性解析」
○布施泰朗¹、初雪¹、早川和秀²（¹京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科、²滋賀県琵琶湖環境科学研究セ）